

議員と語ろう会 総務生活常任委員会

意見・要望として承り、執行部に伝えるもの

番号	意見
1	少子高齢化対策については若い人が結婚しやすい環境づくりをしてほしい。
2	安心して暮らせるまちづくり、いい那珂暮らしと言うものの、那珂市に住んで幼稚園や学校に安心して預けられるような学校環境、教育環境があるということを身をもって示せるような環境を。
3	職員のコミュニケーション能力の向上。
4	空き家の調査を7～8年前に実施したがその後何もしていない。行政がもっと積極的にやるべき。
5	市営住宅を物置として使用している。調査が必要ではないか。
6	市長と語ろう会、泥臭い話必要だと思う。率直な意見交換がしたい。
7	高規格道路の署名について、どういう意図、どのくらいの熱量、意気込みを伝えてほしかった。説明不足では。
8	高規格道路は何の説明（話が十分ではなかった）もなく署名活動が行われた。しっかりとした手順が必要だったので。都市計画課の対応にもっと丁寧さ必要。
9	高規格道路の署名で商工会、観光協会だけの名前だけでまちづくり委員会の名前がないのが先にまわった。重複しても構わないような署名活動はいかがなものか。必要性が十分伝わってない。
10	菅谷は人口は多いが自治会活動が薄くなっている。アパートが多く、人口は増えているが未加入者が多いため、活動費が厳しい。市民協働課から出ている1人70円、まちづくりが発足して14～5年たつが、見直されていない。物価高の対策をしているならまちづくり委員会にも目を向けてほしい。
11	原子力交付金を瓜連地区にも。そのことに対して改善してほしい。同じような処遇してくれとはいいいません。少しでも瓜連地区まちづくり委員会なり、自治会で全体で活用するそういう部分をお願いします。
12	こども110番の家、子供が立ち寄れる場所というところをもっと明確にしてほしい。
13	来賓など集めた時などは、しっかりと紹介するべきである。

議員と語ろう会 総務生活常任委員会

意見として聴くのみで対応しないもの

番号	意見
1	教職員について、卒業式や離任式等に休暇を取り参加できてない。議員の立場から厳しい目でご指摘いただきたい。
2	那珂市の人口は横ばい。菅谷は増えているがその他は減っている。 額田地区昨年の出生数7人。市街化、区域調整の区分けによることが大きいので区域指定の解消が必要では。
3	議員としての意見・見所が聞ける場を作ってほしい。
4	議員のコミュニケーション能力の向上。（一般質問のやりとりの中）
5	本米崎で今年小学校の入学者は7名、昨年は3名。調整区域の問題で少子化が加速。空き家も増えている。中心開発（菅谷地区）になるのは分かるが本米崎地区や戸多地区も考えてほしい。
6	自治会加入率、退会の問題。コミュニティが衰退。子供会、女子会、老人会がなくなっている。後継者問題、各団体のリーダーがいない。
7	独り暮らしの高齢者の孤立化。話相手がいないので声が老化していく。
8	祭りやイベントがなく、自治会が元気であれば、まちづくり委員会も元気だが、地域コミュニティの減。自治会の役員、班長など後継者がいない。
9	70代は働いている方が多いため、自治会活動ができなくなっている。
10	休耕地が増えているので減らして欲しい。
11	市職員へ議員からの指導。上手な接し方や丁寧な対応。
12	木崎地区に注目している。若い人たちが家を建てている。地元に戻ってきている。
13	自治会やまちづくり委員会の活動は交流事業。健康寿命を延ばす必要がある。
14	国民年金生活は自治会費払えないなど圧迫している。退会の理由になっている。
15	75歳以上の健康寿命を延ばしていくことがまちづくり委員会で活動をしていかないと市の医療費はもたない。後期高齢者が健康になる必要がある。
16	各班には60代の未加入者いる、すぐ役員が回ってくるからと未加入。
17	自治会費、町内会費は年間1万円ぐらい。抜けると払わない。払わないだけで後はデメリットはない。その1万円を他に町内会費ではないけど集める方法はないか。と提案したが委縮されてそれ以上の話は進まない。もちろん極論を言ったわけですが、無理なのは分かっているが。実際街灯やごみ収集だったり、そういうのを皆さんと知恵を絞って、それなら抜けても払うなら抜けずに入っているかとなるかもしれないので提案します。
18	極論が出た時にその人が何を言おうとしているのかを感じとる力を職員を育ててほしい。
19	地域づくりは自分たちでどうやって住みよい環境をつくっていくのかだと思う。地域で自分たちでしっかりと出来る事を考えていくことが大切。
20	子供の通学路の問題も含め、地域で安全なまちづくりを目指し行くべき。
21	健康作りも地域のコミュニティを活用し、コミュニケーションを高める。議員も一緒に深く地域とコミュニケーションをとっていく必要がある。
22	総務生活常任委員会が何をやっているか説明してから会に入ったほうがよい。